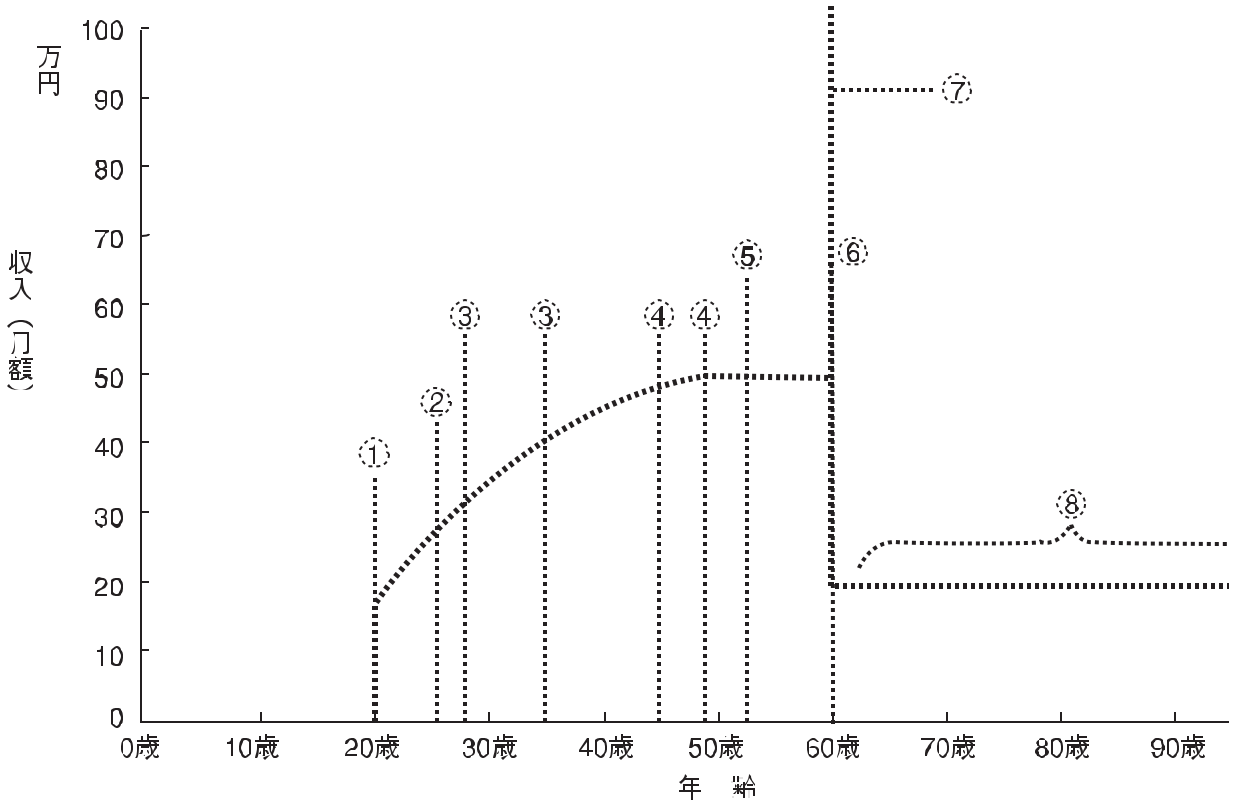
「耳の細いウサギ」ライフプラン原図



今まで編。

人には年をとるごとに、それぞれのライフステージがある。

①. たとえば、20歳で社会に出ると仮定する。初任給17万円からスタート。
②. 25歳で結婚する。
③. 2年後に第一子が誕生。35歳で住宅を購入し、25年のローンで返済する。
④. 45歳の時、第一子は大学入学。49歳で第一子が就職。自分と同じようなステージを歩んでいく。
⑤. 52歳の時、第一子は結婚。
⑥. 60歳定年（定年時の給料は50万円／月）を迎え、住宅ローン完済。
⑦. 40年勤め上げた後、退職金を受け取る。
⑧. 贅沢こそできないが、年金で夫婦2人、つつましく暮らして行ける?。

①～⑧の給与をグラフに描いてみると、「耳の細いウサギ」＝「ライフプラン原図」になる。

いままで、私たちの暮らしの中には、特別、意識しなくとも「ライフプラン原図」が存在していた。高度成長期からバブル崩壊まで続いて現存していたこの原図は、バブル崩壊後、十数年かけて幻のように消えていった。

これからの時代は、「ライフプラン原図」のない時代。自分で原図を描いていく時代になったのである。時代がどのように変化しようと、右肩上がりの原図は誰もが必要なのだから…。